

2026年6月1日（更新）

「得意を仕事に」 多様なプロフェッショナルを育て、新しい未来を創ることに挑戦

株式会社 電通そらり



★創立13年で、障がい者社員は5名から91名へ。活躍領域も大きく拡大

電通そらりは、2013年4月に障害者社員5名、清掃業務からスタートしました。2026年には障害者社員91名となり、業務領域も大きく広がっています。現在は、清掃業務に加え、電通本社ビル全フロアのゴミ回収、PC業務、リサイクル業務などのオフィス業務、世田谷区喜多見での農園業務、電通本社ビル内でのカフェ・ベーカリー運営3店舗など、多様な事業を展開しています。

★農園業務を通じた、地域・企業・社員をつなぐ農福連携

2018年に世田谷区駒沢で農園業務を開始し、2022年からは世田谷区喜多見の約800㎡の農地で事業を展開しています。特例子会社では先進的なサポーター形式の農福連携「農園そらりサポーターズクラブ」に取り組み、障害者社員が担当制で野菜のお届けやサポーターとのコミュニケーションを担っています。自ら栽培したホップを使った「そらりビール」など、独自商品の開発にも挑戦しています。

★電通グループ各社との協働を通じたキャリア開発と成長機会

電通そらりでは、電通グループ各社とのコラボレーションを通じて、社員の成長機会を広げています。「dJオープンキャリアプログラム」への参加に加え、カフェメニュー共同開発、DEI研修での講師登壇、DEI推進イベントでのブース出展やワークショップ主催など、グループ各社と協働した取り組みを実施しています。こうした垣根を越えた協働が、そらり社員の成長機会となり、働く意欲や誇りにもつながっています。

<障害の表記について>

当事者団体や有識者の中でも議論が続いており、複数の意見が存在しますが、本書類においては共同通信社発行の「新聞用語用語集（第14版）」にのっとり表記しています。